

DAYS
J A P A N

地球の上に生きる

DAYS JAPAN
写真展

第11回 DAYS 国際フォトジャーナリズム大賞 受賞作品

9月18日(金)・19(土)・20日(日) 10時～18時 各務原市中央図書館3F

私の写真を見に来てください
知ってください



第11回 DAYS 国際フォトジャーナリズム大賞 審査員特別賞
「ガザ」 photo by オリヴァー・バイケン (epa)

DAYS JAPAN は 2004 年、イラク戦争開戦 1 周年の日に創刊されたフォトジャーナリズム月刊誌です。戦争の真の姿が伝えられないことへの危機感から、戦争だけでなく、この地球上で日々展開する人間と自然の尊厳を危機にさらすさまざまな事柄を、公正に正確に伝える情報誌として刊行されました。

「DAYS JAPAN 国際フォトジャーナリズム大賞」の作品は、人間と地球が抱える問題を鋭く伝えるフォトジャーナリズムの作品、及び人間と自然の尊厳を謳いあげる作品の中から選ばれたものです。

主催:なでに会 清水 058-384-3150 フォトグラファー三浦

ta.katorea@extra.ocn.ne.jp

入場無料

同時開催 三浦寛行の
写真展「大震災を忘れない」
18日 11時・13時・15時
語り「東北と歩んだ4年半」



DAYS 大賞3位

リアとトルコ国境のクルド人難民

スマイル・フェルドゥス (Corbis)



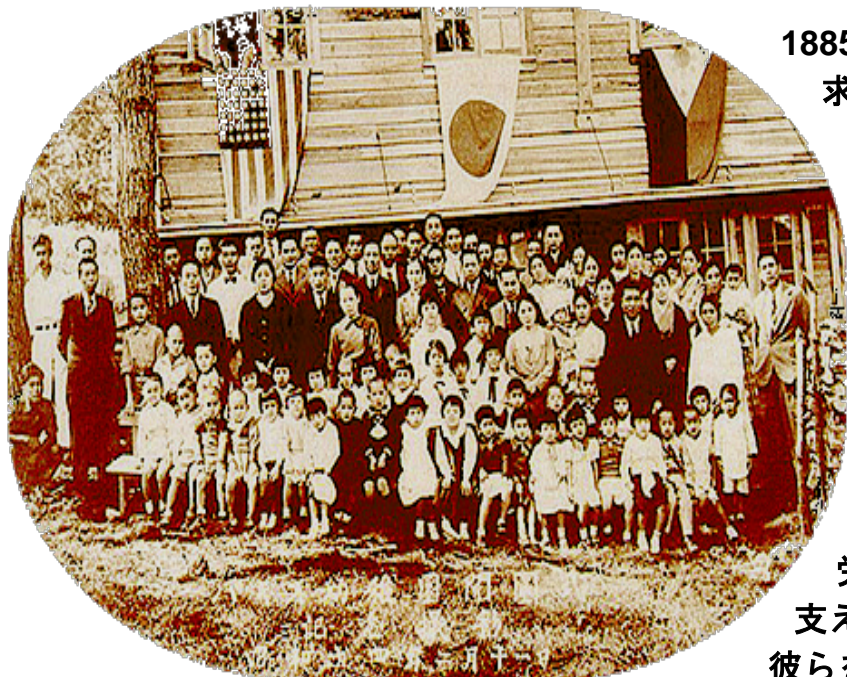
DAYS 大賞2位「ガザ」

アブム・ド・ハムス (AFP)

講演会

戦後70年、今なお続く悲劇

フィリピン日系人の 隠された歴史と現状



1885年～1910年頃、自ら仕事を求めて約3,800人の日本人がフィリピンに渡りました。その後、敗戦によって強制的に家族が引き裂かれ、現地に残された子供たちは日本人である事を隠さなければ生きてこれませんでした。

そして 戦後70年経った今その三世、四世が日本で労働者として地域の経済を支えています。

彼らを知った時から、20年に渡り

彼らの支援に関わってきた中畑氏(日比ジャフィール協会)に、フィリピンに於ける日系人社会の歴史と現状をお聞きします。

30年近くを海外で暮らし多彩な経験の中畑氏は、客観的に日本社会を観、その制度・信仰、ものの考え方等の、日本人とフィリピン日系人との違いについても、広く深く語っていただきます。

日時： 2015年9月20日(日)

13:00 開場 13:30～15:30

場所： 各務原市中央図書館4F 多目的ホール

各務原市那加門前町3丁目1番地3

(058-383-1124)

名鉄各務原線市役所前駅 または市民公園前駅すぐ

講師： 中畑 義彦氏 (株) ZOOTOPIA JAPAN 代表

マニラ ブービックサファリ観光

主催： なでしこ会 (TEL:058-384-3150)

後援 各務原市観光協会

参加費 無 料